

2019年度グローバル地域文化学部 海外語学プログラム 募集要項

海外語学プログラム（英語）は、グローバル地域文化学部生用にスタディー・アブロード科目群の1つとして提供されます。1 Semester（約4ヶ月間）海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めることを目的としています。

プログラムは事前授業、危機管理オリエンテーション、研修校での集中的な英語研修、事後授業で構成されています。最終的な成績は、事前授業、現地での研修の評価、プログラム終了後の事後授業や成果報告レポートを総合して算出されます。プログラム実施校は外国語教育に定評のある、外国人留学生への英語教育に歴史と実績を持った大学です。経験豊かな講師陣のもとで落ち着いて研修を受けることが可能です。

研修校・研修地	単位数	研修期間 (予定)	担当者	募集人数	費用
ウェスタン・ミシガン大学 (アメリカ)	9単位	2019年 8月19日 ～ 12月9日	稲垣 俊史	約20名 (最少催行人員：10名)	約148万円

※費用は2018年11月現在の為替レート等に基づいて算出されているため、変動する可能性があります。

★対象：グローバル地域文化学部 2013年度生 ～ 2018年度生

★募集説明会：12月4日(火) 12時20分～13:00 志高館118教室

★受付期間：1月7日(月)～1月23日(水)

★選考試験：1月31日(木) 17時開始予定

★問合せ先：グローバル地域文化学部事務室（志高館1階）
【TEL: 075-251-2610 / E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp】

★募集説明会

日時：2018年12月4日（火）12時20分～13時00分
場所：志高館（SK）118教室

★個別相談

説明会に出席できなかった場合など、プログラムに関する疑問や質問をプログラム担当者に相談できる機会です。希望者は下記の日時に相談場所に直接来て下さい。アポイントメントは不要です。

担当者	個別相談日時	相談場所
稲垣 俊史	12/18（火）12:15～13:00 1/22（火）12:15～13:00	志高館3階 エレベーター横の教員ラウンジ

★出願受付

■受付期間

2019年1月7日（月）～1月23日（水）
（月～金 9:00～17:00（11:30～12:30は除く））

出願資格	本学部に在籍し、TOEFL-ITP435点以上、TOEFL-iBT41点以上 あるいは、IELTS Overall band score 4.0以上の者
提出書類	① 本学所定の願書、《写真貼付》 ② 志望理由書【日本語と英語で記載のこと】 ③ TOEFL、またはIELTS テストのスコア（コピー） ※過去2年以内に受験したものに限り
願書提出先	グローバル地域文化学部事務室（志高館1階）
特記事項	■海外語学プログラム（英語）と海外インターンシップは併願が可能ですが、それぞれの願書には併願の有無と、いずれを第一希望としているかを必ず記載してください。 ■2019年度に「全学共通教養教育科目」として実施される Semester プログラム（ウィニペグ大学、ディーキン大学、ハワイ大学）合格者は、本プログラムに 応募できません 。

★選考試験

【選考試験】

2019年1月31日(木) 17時開始予定

集合場所	志高館111番教室(SK111)
集合時間	16時50分
特記事項	木曜日の5講時以降に今出川校地で、または4講時以降に京田辺校地で試験がある場合は出願時に申し出てください。なお、面接終了時刻は受験者数によって前後するため未定です。

★結果発表

【結果発表】

2019年2月6日(水) 13時～

発表場所	志高館グローバル地域文化学部事務室前 掲示板
特記事項	2019年度に「全学共通教養教育科目」として実施される Semester プログラム(ウィニペグ大学、ディーキン大学、ハワイ大学)の合格者は本プログラムに 応募できません 。

★科目の取扱い

対象	グローバル地域文化学部 2013年度生 ～ 2018年度生
科目名	海外語学プログラム(英語) I・II・III
単位数	9単位
単位の取扱	<p>■1単位は選択必修科目B群(スタディ・アブロード科目群)の単位に充当します。残り8単位は選択必修科目C群(外国語関連科目群)の英語の単位に充当します。(但し、すでに選択必修科目B群にて1単位履修済の場合は、9単位を英語の単位に充当します。)</p> <p>■参加者の秋学期の履修登録科目は海外語学プログラム(英語)のみとなり、他の科目の登録は原則認められません。</p>
開講年度・学期	2019年度秋学期
登録	大学にて一括登録を行います。(各自での登録手続は不要です)
備考	現地での研修に加え、プログラム参加者は出発前に行われる事前授業と危機管理オリエンテーション、帰国後に行われる事後授業に参加することが必須となります。

★参加費納入

海外語学プログラム（英語）への参加が決定した方は、参加費を納入する必要があります。参加費の納入は複数回にわけて行います。あらかじめ保護者等と参加費の支弁方法について十分相談の上で願ってください。

★奨学金について

海外語学プログラム（英語）に参加し、合格評価を得た方は下記の2つの奨学金を受給することが可能です（2つの奨学金を併用することも可能です）。

両奨学金ともに渡航 1 ヶ月前までに詳細をご案内いたします。ご不明な点はグローバル地域文化学部事務室までお問合せください。

●同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金	
申込方法（概要）	1. 科目担当教員による申込（参加者による申込は不要） 2. 参加者は帰国後、パスポートのコピー、口座振込依頼書を提出
申請書類提出先	上記1. 国際課（ <u>但し、参加者による申込は不要</u> ） 上記2. グローバル地域文化学部事務室
支給額	15万円
支給時期	成績発表後（秋学期末）

●グローバル地域文化学部 海外語学プログラム（英語）合格者に対する奨学金	
申込方法（概要）	・参加者本人による申込 ・参加者は帰国後、申請書、パスポートのコピーを提出。
申請書類提出先	グローバル地域文化学部事務室
支給額	15万円
支給時期	成績発表後（秋学期末）

★TOEFL-ITP テストについて

英語能力の自己点検のためにも、プログラム出発前・帰国後に本学内で実施する TOEFL-ITP の受験をお勧めいたします。なお受験費用は自己負担となりますのでご注意ください。

★事前授業について

海外語学プログラム（英語）の科目登録上の開講年度・学期は「2019 年度・秋学期」（大学にて一括登録するため登録手続は不要）、事前授業は 2019 年度春学期中に 5 回実施されます。2019 年度科目登録の際、海外語学プログラム（英語）の事前授業と他の春学期科目とが時間割重複しないかを十分に確認してください。2019 年度春学期に科目登録している海外語学プログラム（英語）以外の他科目と海外語学プログラム（英語）の事前授業が時間割重複した場合、時間割重複した科目もしくは海外語学プログラム（英語）のいずれかの科目は履修できなくなりますのでご注意ください。（事前授業の曜日講時は、新年度のシラバスで確認してください。）

※事前授業に出席しない場合は、プログラムに参加できない場合がありますのでご注意ください。その際発生するキャンセル料はご自身で負担いただきます。

★危機管理オリエンテーションについて

出発前に行われる危機管理オリエンテーションに必ず出席しなければなりません（2019 年 7 月中旬を予定）。病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。

★事後授業について

現地での研修を終えて帰国した後に成果報告会を兼ねた事後授業を行ないます（2020 年 1 月を予定）。事後授業の曜日講時および詳しい内容は、事前授業の際にお知らせします。

★出願にあたっての注意事項

【履修上の注意や学籍について】

- ① プログラム参加者は、春学期登録期間中にグローバル地域文化学部「海外語学プログラム（英語）Ⅰ」、「海外語学プログラム（英語）Ⅱ」、「海外語学プログラム（英語）Ⅲ」（すべて秋学期科目）を登録することになります（但し、大学にて一括登録を行うため登録手続きは不要です）。参加者の秋学期の履修登録科目は上記科目のみとなり、他の科目の履修登録は原則認められません。
- ② 海外語学プログラム（英語）の科目登録上の開講年度・学期は「2019年度・秋学期」ですが、事前授業は2019年度春学期に実施されます。2019年度の科目登録の際、海外語学プログラム（英語）の事前授業と春学期に履修する他の科目が、時間割重複とならないよう十分に確認してください。2019年度春学期に科目登録する海外語学プログラム（英語）以外の他科目と海外語学プログラム（英語）の事前授業が時間割重複（二校地間移動不可を含む）した場合、時間割重複した科目もしくは海外語学プログラム（英語）のいずれかの科目は履修できなくなりますのでご注意ください。
- ③ プログラム参加者は、英語と日本語で行われる事前授業に加え、出発前に行われる危機管理オリエンテーションに必ず出席しなければなりません。これらには、病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。また、事前授業に出席しない場合は、プログラムに参加できない場合がありますのでご注意ください。その際発生するキャンセル料はご自身で負担いただきます。なお、帰国後には、事後授業への出席やレポート提出が義務付けられています。
- ④ 最終的な成績は、事前授業、留学先での研修に対する評価、帰国後の事後授業・レポート等を総合的に評価して決定されます。
- ⑤ 本プログラム参加期間中は「在学扱い」であり、本学への学費の納入が必要となります。
- ⑥ 留学開始時の学年によっては、留学期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。

【その他】

- ① プログラム開始前・開始後ともに、キャンセルは原則として認められません。また、2019年度に「全学共通教養教育科目」として実施されるセメスタープログラム（ウィニペグ大学、ディーキン大学、ハワイ大学）の合格者は本プログラムには応募できません。また、海外語学プログラム（英語）と海外インターンシップは併願が可能ですが、それぞれの願書には併願の有無と、いずれを第一志望としているかを必ず記載してください。参加については十分に考慮し、保護者の方ともよく相談した上で出願してください。プログラムに参加することが決定した後にキャンセルをされた場合、参加費全額返金の保証はできません。
- ② 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されません。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回りプログラムの開催が不可能となった場合も同様です。
- ③ セメスタープログラム出発前に、外務省の「海外渡航関連情報」で「危険情報：不要不急の渡航は止めてください（4段階中2番目の危険度合）」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただきましたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできなくなることがあります。また、現地の治安状況および世界情勢等によっては、プログラムが急遽中止になる場合もあります。プログラム開始後であっても、大学長による帰国命令が出された場合は帰国しなければなりませんので、あらかじめご了承ください。
- ④ 為替レートの変動やスケジュールの変更、参加人数の変更により、参加費用が変わることがあります。事情により金額不足が生じた場合は、不足金額分を追加徴収させていただきます。逆に、必要経費が徴収した参加経費を下回った場合は残金を返金いたします。
- ⑤ 参加者の中からリーダー・サブリーダーを選び、出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。
- ⑥ 参加にあたっては、参加者が本学に提出する誓約書による誓約事項を厳守いただきます。
- ⑦ プログラム参加者は健康診断証明書が必要になります。
4月初旬に大学で行っている健康診断を受診しなかった場合は、外部の医療機関等で健康診断を受けていただきます。その際の予約、健康診断証明書の発行はご自身で手配していただくことになります。

★プログラム紹介

■研修地カラマズーについて

カラマズー（ミシガン州）は、シカゴとデトロイトのほぼ中間に位置する人口 75,000 人の小都市です。このプログラムの実施校であるウェスタン・ミシガン大学に加え、カラマズー大学があります。両校の学生と教職員でほぼ人口の半数を占める大学町です。古き良き中西部を思わせるダウントウンの街並みの外には森林や農耕地が広がり、五大湖付近の豊かな自然を感じることができます。シカゴとデトロイトへは鉄道または車で 3 時間程度と、利便性もよいです。研修期間となる晩夏から初冬にかけての気候は過ごしやすく、季節の移り変わりも楽しめます。

■研修実施大学について

本プログラムは、本学の協定大学でもあるウェスタン・ミシガン大学で学ぶ 1 セメスターの海外英語研修プログラムです。1903 年創立のウェスタン・ミシガン大学は、学生数が約 25,000 人の州立大学で、アメリカの公立大学トップ 100 にランキングされる中堅上位の実力校です。中でも、経営大学院、工学部、航空学部は全米トップレベルを誇ります。日本や東アジアからの留学生はあまり多くありませんが、日本語や日本文化への関心は高く、日本文化を紹介する曾我ジャパンセンターが付設機関としてあります。研修を受ける Center for English Language and Culture for International Students (CELCIS) は、40 年の歴史を誇る機関で、留学生に対して定評の高いプログラムを提供しています。

■研修内容

現地到着後、CELCIS が実施するプレースメントテストによって、各人に適したレベルにクラス分けがなされます（5 段階）。中近東やアジアからの留学生を中心とした各国からの留学生と共に学びます。

授業時間	月～金曜日 9:00～12:50（週 17.5 時間）
	午後には大学入学準備の講義（50 分×10 回）とボランティアを通して英語を学ぶサービス・ラーニング（計 10 時間の予定）が入る日もあります。 ※本学部からの参加者には、入学準備の講義とサービス・ラーニングへの参加が義務づけられています。 ※その他、希望者は会話サークルや各種のアクティビティに参加することができます（一部有料）。詳細は現地でのオリエンテーションで確認してください。

■宿 泊 先：ホームステイ

■食 事：朝食と夕食は、ホームステイ先から提供されます。

■同 行 員：同志社大学の教職員や添乗員は同行しません。

■参加費用

含まれるもの	往復航空券／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／海外旅行傷害保険料／プログラム費／査証の代行及び取得費用 ※プログラム費には、学費、事務手数料、ホームステイ費用（1日2食）、現地空港への送迎費用が含まれます。
含まれないもの	上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。超過手荷物料金／日本の空港に行くまでにかかる交通費／教材費／その他個人的な生活費用。

■査証

本プログラムに参加するためには査証の取得が必要です。査証申請に必要な書類はウェスタン・ミシガン大学によって発行されます。

■日程（予定）

8/19	伊丹空港出発（成田経由） → カラマズー空港到着 ※到着後、ウェスタン・ミシガン大学担当者またはホストファミリーが空港にて各自をピックアップ ホームステイ泊
8/20	フリータイム ホームステイ泊
8/21 12/6	CELCIS オリエンテーションと秋学期授業 ホームステイ泊
12/7	フリータイム ホームステイ泊
12/8	カラマズー空港出発
12/9	（成田経由）伊丹空港到着 ※到着後、解散